

みんな楽しく運動 チャレンジデー 2011



奥州市として、ことしで4回目の実施となるチャレンジデー。初夏のイベントとしてしっかりと定着しました。今回は、ほかの自治体との対戦は行いません。東日本大震災からの復興と支援に向け、スポーツをとおして「元氣」を取り戻すため、市独自で実施します。

チャレンジデーに参加し、運動して心と体を元気にしましょう。

楽しく運動をしましょう

チャレンジデーは、特別ルールのある運動やスポーツではありません。

グループでも個人でも、15分以上体を動かすだけです。体操やウォーキングなどの軽い運動でも構いません。

運動をした後は、集計センターに電話または、ファクスで報告してください。

共通イベント

皆さんが気軽に参加できるように、いろいろなイベントを準備しています。

このほかにも、市内各地で協賛イベントを開催します。



詳しくは、市ホームページでお知らせします。

皆さんで楽しく参加しましょう。

◇市民総参加・早朝おはよう体操
手軽にできる運動として、朝のラジオ体操に地域や個人で取り組みます。

◇ふうせん送りでチャレンジ
ふうせん送り競技を対抗戦で行います。地区対抗、事業所対抗の部を設けて、それぞれの部門上位を表彰します。

◇おうしゅうチャレンジカップ
小中学校を対象に「ふうせん送り」でチャレンジ「ダンブルダッチ」「ロープ・ジャンプ・X」に取り組みます。

◇公共スポーツ施設無料開放
市内の公共スポーツ施設を無料開放します。

◇開催期日 5月25日(水)

◇場所 家庭や学校、職場など

◇対象 市民、市外からの通勤、通学者など

◇問い合わせ チallengeデー実行委員会・本庁スポーツ振興課（江刺総合支所・内線454）

◇報告先
☎0120・234・720
FAX0120・234・750

二酸化炭素を排出せず地球環境に優しい

太陽光発電システムを設置しませんか

市は、22年度に引き続き「住宅用太陽光発電システム導入促進費補助金」の申請受け付けを開始しました。この補助金は、国の補助制度に該当した人に対し、市として上乗せして補助金を交付するものです。

全国的に、太陽光発電システム導入への関心が高まっています。21年から始まったこの事業で、これまでに市内では、372世帯で太陽光発電システムが導入されました。

太陽光発電は、深刻化するエネルギー資源問題の有力な解決策の一つです。地球温暖化の原因とされている二酸化炭素を発電時に排出しないため、地球温暖化防止対策の一助にもなっています。余剰電力を電力会社に買い取っても

らう売電制度があり、経済的メリットもあります。

導入した人からは「より多く売電ができるように、節電を心掛けるようになった」

「今回の震災の停電時にも電力を賄える時間帯があつて助かった」という声も聞かれました。

あなたも、この環境にも家計にも優しい「住宅用太陽光発電システム」を設置しませんか。

■問い合わせ 本庁生活環境課環境係（内線213）



設置された太陽光発電システム

□補助金の計算例

- 設置する太陽光発電システム 2.93 kW（公称最大出力）
- 設置費用 175万円
- 国補助額 1 kW当たり 48,000円
- 市補助額 1 kW当たり 10,000円（*100単位の小数点以下は切り捨て）
- 補助金の計算

設置費用	国補助金	市補助金	補助金合計	自己負担額
1,750,000円	140,640円	29,000円	169,640円	1,580,360円

※設置費用は一例です。補助金は変更になる場合があります

補助金の申し込み方法

■対象者

- ①市内に住所がある個人
- ②市税などの滞納がない
- ③太陽光発電普及拡大センター（J-PEC）が実施する住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金の交付決定通知書を受け取った人

■対象システム どちらにも該当するもの

- ①新たに設置されたもので、太陽電池の最大出力が10 kW未満のもの
- ②J-PECが認めた補助対象システムで、設置費用が1 kW当たり60万円（税抜）以下のもの

※平成22年度のJ-PEC補助額は1 kW当たり65万円（税抜）以下のもの

■補助額

太陽電池モジュールの公称最大出力1 kW当たり1万円

■申請の時期

国の補助金交付決定通知書を受け取ってから6カ月以内に市へ申請
※予算額に達した時点で終了

■申請期限

平成24年3月30日(金)

■申請先 本庁生活環境課、各総合支所市民環境課